

2018年4月6日

プレスリリース

ピープルソフトウェア株式会社
都築電気株式会社

【導入実績】カップヌードルミュージアム 横浜（神奈川県横浜市）
多言語音声ガイドアプリ MUSENAVI 導入！



ピープルソフトウェア株式会社（代表取締役社長：木暮 知彦／本社：岡山県倉敷市）および都築電気株式会社（代表取締役社長：江森 勲／本社：東京港区新橋／以下 都築電気）は、カップヌードルミュージアム 横浜（神奈川県横浜市／運営者：公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団）に、2018年2月1日、多言語音声ガイドアプリ MUSENAVI をご導入頂きましたので本日導入実績をご報告します。「カップヌードルミュージアム 横浜」アプリは無料でダウンロードいただけます（音声ガイドのご利用は現地受付でのチェックインが必要です）。ぜひ、カップヌードルミュージアムにお越しいただき、多言語ガイドアプリ MUSENAVI をご体感願います。

■アプリの目的（導入前の課題）

- ・ガイド機のメンテナンス効率化、英語以外の多言語化
- ・ガイドの日本語対応（日本のお客様へのガイド充実）
- ・将来的にコンテンツや機能の追加や柔軟な対応がしやすいシステム

■アプリの特長（課題対応と今後）

MUSENAVI による多言語対応（現在は日本語、英語のみ。今後、中国語、韓国語対応予定）、ビーコンによる音声ガイド利用制限により大切なコンテンツを適切に保護しながら、来館された世界各国の皆さまが実際の展示と当アプリでより感動を高めていただけるサービスを目指しております。当アプリは音声ガイダンスだけにとどまらずアプリをご利用いただいている方へのプッシュ配信、コンテンツの視聴傾向、施設への流入分析へつなげる仕組みもトータルにサポートしております。

■お客様情報

- ・お客様 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（大阪府池田市）
- ・導入施設 カップヌードルミュージアム 横浜

（ <https://www.cupnoodles-museum.jp/ja/yokohama/> ）

世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、地球の食文化を革新した日清食品創業者・安藤百福の「クリエイティブシンキング＝創造的思考」を数々の展示を通して体感し、子どもたちひとりひとりの中にある創造力や探究心の芽を吹かせ、豊かに育てるための体験型ミュージアムです。

■アプリ概要

- ・アプリ名 カップヌードルミュージアム 横浜
(<http://www.musenavi.jp/supports/cupnoodles-museum-yokohama/>)
- ・対応OS iOS 版および Android 版
- ・システム名 多言語音声ガイド『MUSENAVI（ミューズナビ）』 (<http://www.musenavi.jp/>)

＜お問い合わせ先＞

【製品・サービス】

ピープルソフトウェア株式会社 営業本部 文化・観光ビジネス担当

フリーダイヤル 0120-960-228 直通電話 086-426-5932

都築電気株式会社 西日本本部 コミュニケーション統括部

第二コミュニケーション部 第二営業課 池井

電話 06-6204-7128

【メディア取材】

都築電気株式会社 広報室 北浦・西田

電話 03-6833-7703 E-Mail pr@tsuzuki.co.jp

以上